

環境経営レポート

2024年度

対象期間: 2024年4月～2025年3月 間



旭事業所

発行日: 2025年 6月2日

改訂日: 2025年 9月17日

テクノパーツ株式会社

目 次

1. 事業の概要	3ページ
2. 経営理念	4ページ
3. 環境組織図	5ページ
4. 環境目標及び実績	6ページ
5. 2024年度目標・実績	6ページ
6. 環境活動計画及び取り組み結果	7ページ
7. 次年度の取組内容	8ページ
8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	9ページ
9. 代表者による全体の評価と見直しの結果	9ページ

1. 事業の概要

(1) 事業所名及び代表者名

・会社名 / テクノパーツ株式会社

・代表者名 / 梅村 武司

・所在地 / 本社 : 〒454-0802 「愛知県名古屋市中川区福住町2番26号(登記上)」

小牧事業所 : 〒485-0084 愛知県小牧市入鹿出新田33番地

TEL 0568-76-1911 FAX 0568-76-1922

建物面積 890.10㎡(269.25坪)

(2021年1月～ リンナイ(株) 大口東工場内 借用)

旭事業所 : 〒488-0824 愛知県尾張旭市西山町1丁目1番地

TEL 052-771-3216 FAX 052-771-3421

建物面積 6,685.08㎡(2,022.23坪)

(リンナイ(株) 旭事業所内 借用)

・環境管理責任者 / 黒川 裕光

・事務局 / 黒川 裕光

・連絡先 / TEL 052-361-8509 FAX 052-771-3421

(2) 事業の内容

・熱エネルギー機器部品の組立加工

(ガス機器、電熱機器、家庭用電気機器、厨房用電気機器の部品組立加工)

(3) 会社の規模

・資本金 5,000万円

・売上高 647百万円 (2025年3月末)

・社員数 183名 (2025年3月末)

本社 登記上のみ

小牧事業所 41名 (常用雇用: 25名、アルバイト雇用: 16名、派遣社員: 0名)

旭事業所 140名 (常用雇用: 97名、アルバイト雇用: 25名、派遣社員: 18名)

(4) 対象範囲

・対象事業所

旭事業所 : 〒488-0824 愛知県尾張旭市西山町1丁目1番地

TEL 052-771-3216 FAX 052-771-3421

小牧事業所 : 〒485-0084 愛知県小牧市入鹿出新田33番地

TEL 0568-76-1911 FAX 0568-76-1922

・事前活動

熱エネルギー機器(ガス機器、電熱機器、家庭用及び厨房用機器の部品組立加工)

・認証範囲

全組織・全活動

2.経営理念

テクノパーツ株式会社は環境経営に関する方針を以下に定め、社会に対する約束として誠実に実施に努めます。

(環境経営基本理念)

テクノパーツ株式会社は、事業活動(部品の組立加工)を通じて、発生する環境負荷の低減に継続的に取り組み、地域環境の保全並びに地球環境の保全に寄与することで、持続可能な社会の構築に貢献することを基本理念とする。

(環境経営方針)

テクノパーツ株式会社は熱エネルギー機器部品の組み付け事業活動全般において環境への配慮を、優先課題として取り組み『私たちは英知を結集し、人と地球にやさしい環境に配慮し、行動します。』をスローガンに以下の方針に基づき環境経営活動を推進します。

- 1、当社の事業活動に伴う環境影響を的確に把握し、環境負荷の低減をはかるため環境経営目標及び改善活動計画を定め、環境保全活動を推進します。
- 2、環境関連の法規制及び当社が認めたその他の要求事項を遵守します。
- 3、従業員の環境意識を高め、省エネルギー活動の推進、水の有効利用、廃棄物の削減に取り組みます。
- 4、製品とサービスの向上を図り、工程内不良低減を推進します。
- 5、この取組みを社内外に積極的に開示し、環境保全意識の向上に努めます。

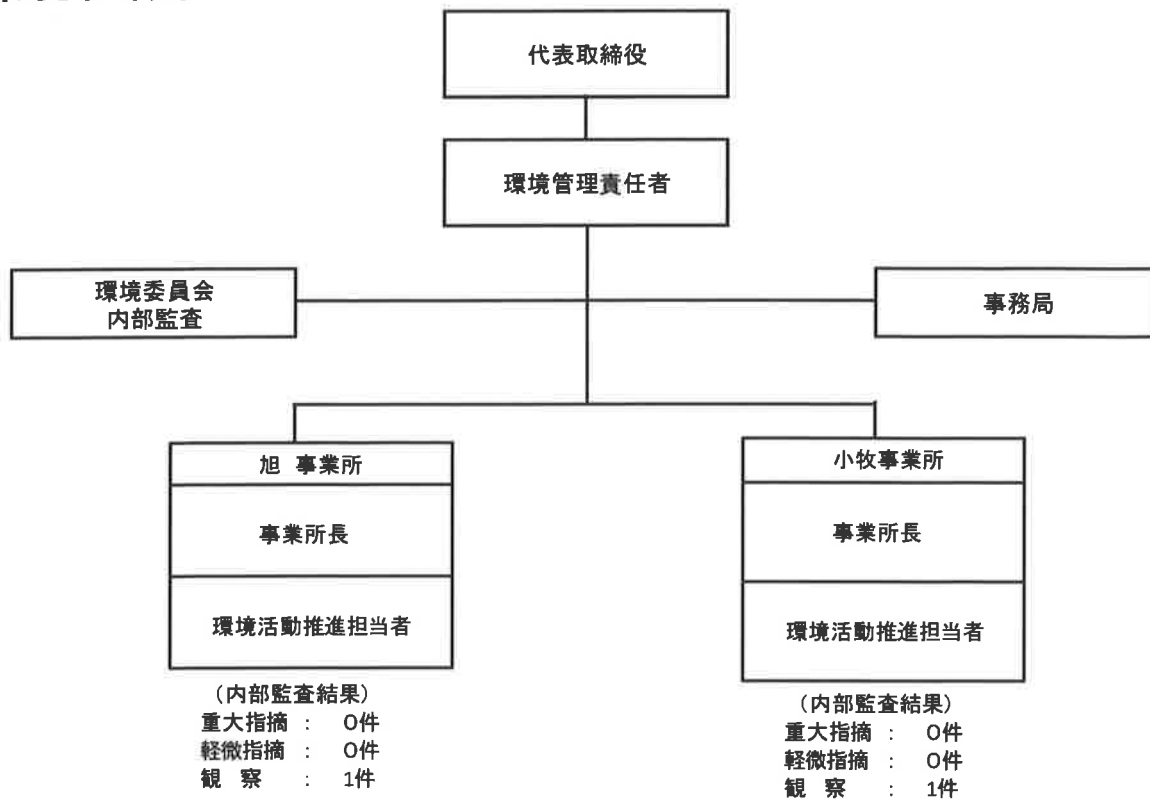
制定 2019年11月 1日

改訂 2024年 4月 1日

テクノパーツ株式会社

代表取締役社長 梅村 武司

3.環境組織図



役職名又は担当	役割・責任・権限
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営方針策定及び環境経営目標の決定を行う。 ・ 環境経営システムの取組みの全体の評価と見直し・指示を行う。 ・ 環境経営システムに有用な人材・設備・資金を確保し、効果的な運用と適切な維持管理を指示する。 ・ 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代表取締役を補佐し、環境経営システムの遂行をする。 ・ 環境経営システムの全体の評価及び見直しに必要な各種情報を代表者に報告する。 ・ 環境関連のコンプライアンスの監視を行う。 ・ 環境経営レポートの確認
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境管理責任者を補佐し、運用面全般を統括し、活動における事務処理全般を担当する。 ・ 環境経営レポートの作成
事業所長及び 環境活動推進担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所の日常業務に於ける、産業廃棄物の適切な処理方法の検証と環境保全に関する活動を推進する。 ・ 省電力及びムダの削減を推進する。
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境管理責任者、事務局、事業所長又は環境活動推進担当者で構成し、2ヶ月1回の会合、活動の進捗及び計画・結果の協議を行う。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営方針に基づき環境経営活動を推進する。 ・ 環境関連のコンプライアンスを遵守する。

4. 環境目標及び実績

目標は、二酸化炭素排出量、水の使用量、廃棄物量については売上高を分母とした「原単位」当りの削減率で目標値が設定してあります。

管理項目としては、「二酸化炭素排出量の削減」、「水使用量の削減」、「廃棄物の削減」、「製品とサービスの向上」に取り組んでおります。

旭事業所として、前年度実績を据え置きにし目標値を設定し活動を進めましたが今年度も目標値に対して、未達成の項目がありました。

5. 2024年目標・実績

< 旭事業所 >

項目	重点指標及び評価	2024年度目標	実績 (2024年4~3月間) 売上高(旭) : 492百万円 売上高(小牧): 155百万円	判定
① 二酸化炭素排出量の削減 『排出係数』	二酸化炭素排出量 原単位 (kg-CO2/百万円) 2022年度基準値 726.11	718.85以下 2022年度基準値 1%削減	796.2 (384,413kg-CO2) 6.7%増	×
電力 kWh (0.472) 中部電力調整排出係数2017年	購入電力量(kWh)	—	442,318	—
ガス (都市ガス + LPG)	ガス使用量(m3)	—	69,948	—
② 水使用量の削減	水使用量 原単位(m3/万円) 2022年度基準値5.27	5.22以下 2022年度基準値 1%削減	5.41 (2,661m3)	×
③ 廃棄物の削減	分別回収の徹底化 原単 (Kg/百万円) 2022年度基準値 29.99	29.69以下 2022年度基準値 1%削減	29.61 (14,568kg) 0.08%減	○
④ 製品とサービスの向上	工程内不良低減(%)	0.162%以下	0.209	×

『※化学物質の使用はありません。』 ※【評価】の判定は、目標達成「○」又は目標未達「×」

< 小牧事業所 >

③ 廃棄物の削減	分別回収の徹底化 原単位 (Kg/百万円) 2022年度基準値 26.11	25.58以下 2022年度基準値 2%削減	23.65 (3,682kg) 7.54%減	○
④ 製品とサービスの向上	工程内不良低減(%)	0.016%以下	0.006%	○

6. 環境活動計画及び取り組み結果

項 目	主な活動計画の内容	評 価	
		旭	小牧
① 二酸化炭素排出量の削減 ・購入電力の抑制 ・化石燃料の抑制	1. 空調機の温度管理（継続） （暖房運転20℃以下・冷房運転28℃以上運転）	○	—
	2. 消灯の徹底 （未使用場所、休憩時間等）	△	—
	3. コンプレッサーの稼働時間の明確化と運用	○	—
	4. 蛍光灯の省エネ化	○	—
	1. 空調機の温度管理（継続） （暖房運転20℃以下・冷房運転28℃以上運転）	○	—
② 水の使用量削減 ・使用水の抑制	1. 水の循環使用（継続管理）	○	—
	2. トイレ音姫による水使用量の制限（継続的管理）	○	—
	3. 節水依頼の明確化と運用（継続管理）	○	—
③ 廃棄物の削減 ・有価物化の推進	1. OA用紙等の分別回収の推進 （継続管理）	○	○
	2. ビス箱の分別回収の推進 （継続管理）	○	○
④ 製品とサービスの向上	1. 慢性不良改善に対する対策を推進	△	△
	2. 標準作業の見直し	○	○
	3. 不良に対する真の原因追求の実施	△	△

地域ボランティア活動参加

2025年5月14日(水) 午後3時から午後4時まで



オオキンケイギク駆除活動

7. 次年度の取組内容

(1) 次年度以降の環境目標は、旭事業所の3カ年目標を明確にして進める。

< 旭事業所 >

項目別目標 (2022年度基準値)	2023年度	2024年度	2025年度
① 二酸化炭素排出量の削減 (原単位) 726.11kg-CO ₂ /百万円 (441,834kg-CO ₂)	CO2排出量原単位 1%削減 2022年度基準値 原単位 = kg-CO ₂ /百万円 目標: 718.85 実績: 774.70	CO2排出量原単位 1%削減 2022年度基準値 原単位 = kg-CO ₂ /百万円 目標: 718.85 実績: 796.2	CO2排出量原単位 1%削減 2022年度基準値 原単位 = kg-CO ₂ /百万円 目標: 718.85
② 水使用量の削減 (原単位) 5.27m ³ /百万 (3,209m ³)	水使用量 1%削減 2022年度基準値 原単位 = m ³ /百万 目標: 5.22 実績: 5.27	水使用量 1%削減 2022年度基準値 原単位 = m ³ /百万 目標: 5.22 実績: 5.41	水使用量 1%削減 2022年度基準値 原単位 = m ³ /百万 目標: 5.22
③ 廃棄物の削減 (原単位) 29.99m ³ /百万 (18,247kg)	排出物の排出量 1%削減 2022年度基準値 原単位 = m ³ /百万 目標: 29.69 実績: 33.72	排出物の排出量 1%削減 2022年度基準値 原単位 = m ³ /百万 目標: 29.69 実績: 29.61	排出物の排出量 2%削減 2022年度基準値 原単位 = m ³ /百万 目標: 29.39
④ 製品とサービスの向上 0.190%	前年実績の10%削減 目標0.171% 実績0.180%	前年実績の10%削減 目標0.162% 実績0.209%	前年実績の5%削減 目標: 0.198%

< 小牧業所 >

③ 廃棄物の削減 (原単位) 26.11kg/百万 (18,247kg)	排出物の排出量 1%削減 2022年度基準値 原単位 = kg/百万 25.84	排出物の排出量 2%削減 2022年度基準値 原単位 = kg/百万 25.58	排出物の排出量 3%削減 2022年度基準値 原単位 = kg/百万 25.32
④ 製品とサービスの向上 0.014%	前年実績の10%削減 目標0.012% 実績0.018%	前年実績の10%削減 目標0.016% 実績0.006%	前年実績の10%削減 目標0.005%

(2) 次年度の活動計画

- ① 二酸化炭素排出量に関しては旭事業所で2022年度基準値の1%削減
- ② 水の使用量に関しても同様に旭事業所で2022年度基準値の1%削減
- ③ 廃棄物の削減に関しては2022年度基準値の旭事業所で2%削減、小牧事業所で3%削減
- ④ 製品とサービスの向上としては、前年実績の旭事業所で5%・小牧事業所で10%削減

8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社に適用される環境関連法規については、各事業所で「環境法規制遵守状況チェック表」を用いて2025.3月末に確認したところ違反はありませんでした。

また、関係当局よりの違反等の指摘や訴訟等は、過去3年間ありません。

- ・ 騒音規制法
- ・ 家電リサイクル法
- ・ 廃棄物処理法(一般・産業廃棄物)
- ・ フロン排出抑制法
- ・ 県民の生活環境の保全等に関する条例

9. 代表者による全体の評価と見直しの結果

2024年度の環境活動は、目標を達成できた項目が少なく事業所間での差があり両事業所での連携がとられていないように感じる。事務局として来年度以降しっかりと進捗のフォローをしてほしい。

次年度からは組織的にメンバーも代わりますが事務所間の連携をを図り、目標達成に向けて活発な環境活動をお願いします。

2025年 5月30日

テクノパーツ株式会社

代表取締役社長 梅村 武司